



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要								
建物名称	ミネバアミツシ編浜松工場内厚生棟(クラブハウス・社員寮 ODE線)建替工事			BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度									
重点項目	得点*/満点		取組み度			評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0	/5				ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5				ふつつ			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4	/5				がんばろう			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.0	/5				ふつつ			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上		ふつつ 3 点以上		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点		3.0		
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ①断熱等性能等級4 ③レースカーテンとバルコニーで昼光制御 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦断熱等性能等級4 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 	Q-1	2	2.1	2.1.2	① 外皮性能	
		Q-1	3	3.1	3.1.3	② 昼光利用設備
				3.2	3.2.1	③ 昼光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④ 躯体材料の耐用年数
				2.2.2	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔	
			2.2.3	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
			2.2.4	④ 空調換気ダクトの更新必要間隔		
			2.2.5	④ 空調・給排水配管の更新必要間隔		
			2.2.6	④ 主要設備機器の更新必要間隔		
	Q-3	1			⑤ 生物環境の保全と創出	
		3	3.2		⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-1	1			⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
		2			⑧ 自然エネルギー利用	
		3			⑨ 設備システムの高効率化	
		4	4.1		⑩ モニタリング	
			4.2		⑩ 運用管理体制	
	LR-2	1	1.1		⑪ 節水	
			1.2	1.2.1	⑪ 雨水利用システム導入の有無	
			1.2.2	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無		
		2	2.1		⑫ 材料使用量の削減	
			2.2		⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
			2.3		⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
			2.4		⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
			2.5		⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
			2.6		⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
		3	3.1		⑬ 有害物質を含まない材料の使用	
			3.2	3.2.1	⑬ 消火剤	
				3.2.2	⑬ 断熱材	
				3.2.3	⑬ 冷媒	
	LR-3	1			⑭ 地球温暖化への配慮	
		2	2.2		⑮ 温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点		3.1		
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰耐震クラスA 	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯ 耐震性	
				2.1.2	⑯ 免震・制振性能	
			2.4	2.4.1	⑰ 空調・換気設備	
				2.4.2	⑰ 給排水・衛生設備	
				2.4.3	⑰ 電気設備	
				2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法	
				2.4.5	⑰ 通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点		2.4		
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	
		3	3.1	3.1.1	⑲ 階高のゆとり	
				3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ	
	Q-3	3	3.1		㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点		3.0		
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑥生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 	Q-3	1			⑥ 生物環境の保全と創出	
		2			⑥ まちなみ景観への配慮	
		3	3.2		⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-2	2	2.5		⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
	LR-3	2	2.2		⑮ 温熱環境悪化の改善	

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ミネペアミツミ横浜松工場内厚生棟	階数	地上6F
建設地	静岡県袋井市浅名2134-244,2134-	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2024年6月25日
敷地面積	15,925 m ²	作成者	株式会社安藤・間 調 恒治
建築面積	780 m ²	確認日	2024年6月25日
延床面積	3,856 m ²	確認者	株式会社安藤・間 調 恒治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>察生の快適性に配慮した階高設定、天井高さとする。</p> <p>1階に厨房とラウンジ、ラウンジからバーベキューテラスや庭へ内外の連続性を持った開口部を設けることで、開放的な食事空間を設ける。また、基準階には談話コーナーを設け、寮生のコミュニケーションスペースとするなど、リフレッシュスペースを各階に配置した計画とする。</p>	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>居室について、断熱等性能等級4とし、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に務めている。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>特になし</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>断熱等性能等級4、住宅部分BEI=0.98、非住宅部分BEI=0.86としている。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>ライフサイクルCO₂排出率98%としている。</p>
<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>機械配管支持方法を耐震クラスAとするなど、建物のサービス性能の向上に務めている。</p>	
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>LGS下地を採用している。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される